

湖南省防災士連絡会 令和5年度 第5回幹事会議事録

1. 開催日時

令和6年2月15日（木）19:00～20:30

2. 開催場所

サンライフ甲西 2階 大会議室

3. 出席者

23名

4. 議事概要

4.1 会長あいさつ

- ・1月28日開催の防災活動内容報告会の参加者は138名でそのうち防災士は66名でした。また、当日実施しました能登半島地震募金では、14,490円のお志を頂きました。社協を通じ日赤滋賀県支部に届けました。ご協力ありがとうございました。
- ・本日の幹事会は、次年度事業計画について、先日開催した拡大役員会の結果に基づき皆さんと協議したいと思います。

4.2 次年度事業計画について

当日配布の「第六回 防災士連絡会 拡大役員会 議事録」に沿って会長から説明があった。

(1) 拡大役員会出席者からの意見の紹介

- ・各委員会や幹事会の出席者はほぼ固定化しており、出席メンバーの負担が大きくなっている。
- ・役員、幹事、委員長などの選出過程には納得性が低い。
- ・先日実施した防災士アンケート結果では、活動していると意思表示した防災士は、約90名で全会員の37%に過ぎない。
- ・このまま連絡会の運営が続けば、連絡会自体の存続が危ぶまれる。

(2) 次年度事業計画の基本的な考え方

上記(1)の意見に鑑み、次年度の事業計画の基本的な考え方は以下のとおり。

- ① 防災士のスキルアップに関する事業（スキルアップ委員会の令和6年度事業案：当日配布の「令和6年度事業計画案」と活動報告会（会場やテーマなど連絡会全体で見直す）は継続する。
- ② 各委員会単位で、「防災士が活動しやすくするためには何をすべきか」を検討する。

4.3 意見交換

上記4.2の内容を受けて、出席者全員から意見を述べてもらった。意見の要約を以下に列挙する。

(1) 幹事会に関して

- ・報告を聞くだけの会になっている。開催頻度を減らして全防災士が出席できるようにしてはどうか。
- ・テーマを決めて、話し合う場としてはどうか。
- ・知識、スキルアップできる会としたい。

(2) 委員会に関して

- ・委員会の活動がかぶっている。
- ・全員で一つの事業で活動していく形でもいいのではないか。

(3) 防災士間の交流に関して

- ・自分の地区での防災士同士の顔合わせができていない。
- ・顔つなぎ、雑談からでもよいので、防災士の顔合わせをする交流会の開催。（区または学区ごとで）

(4) 防災士連絡会と区・まち協との関係に関して

- ・各まち協の防災部会から共通のテーマが防災士連絡会に上がって来る形が良く、防災士の活動のフィールドはまち協が良い。
- ・ふるさと防災チームとの連携が出来たら良い。
- ・地元との橋渡しがしたい。次年度のスキルアップ委員会の計画にあるワークショップを是非やりたい。
- ・区の防災士は月1回の区の防災会議（出席者の半分は防災士）に出席している。
- ・区、区長により防災士連絡会との関係は温度差がある。
- ・防災士は区単位で活動すべきと思うが、何をしてよいか分からない。
- ・まち協との協業の中で、防災士として組織的に参加・協力していない。
- ・防災士連絡会に幹事を出していない区は取り残されていくので、まずは、これらの区への掘り起こしが必要。
- ・まち協に逃げるのではなく、いかに利用していくか、防災士からのボトムアップしていくようなまち協へのアプローチが必要。

(5) 防災士自身に関して

- ・防災士連絡会の活動からヒントを得て活動を展開したい。
- ・まず自分の家族を守るために防災士になった。
- ・防災士になって7~8年新しい知識をチャージアップしたくて参加している。毎年知識をつけたい。
- ・まずは自分からやるというやる気が大事、その上で他のやる気のある人を引っ張っていく。

(6) 全般に関して

- ・4.2 (1) の37%をアップすることが連絡会の目的（設立の趣旨、原点にもどる）
- ・連絡会の中身が伝わっていない、情報を伝える事。
- ・2年任期でメンバーが替わっても継続できるように中長期的な取り組みが必要。
- ・消防団と防災士との連携。
- ・岐阜県瑞浪市の防災士連絡会とのつながりを持っているので利用してもらえ。
- ・解決策を考える上で、どういう立場・組織としての解決策なのかを意識して検討する必要がある。
(防災士として、委員会として、役員会として、連絡会として何ができるのか)

4.4 今後の予定

今後の予定について、以下の日程を確認・決定した。

(1) 3月14日（木）第7回拡大役員会 19:00~ 東庁舎3階 第3会議室

内容：・今年度事業報告及び次年度事業計画の決定（各委員会）→総会資料案とする。

- ・本年度決算、次年度予算の確定（各委員会）→総会資料案とする。

(2) 4月14日（日）総会 10:00~ サンライフ甲西 2階 大ホール

(3) 4.2 (2) ②の各委員会による「防災士が活動しやすくするためには何をすべきか」の検討に関しては、

- ・次回の拡大役員会議までに各委員会で話し合う。
- ・その結果（やるべき事）を次年度の前半に計画詳細化し、後半に実施する。その事を次年度の活動計画に入れ、拡大役員会議にて決定する。

4.5 その他

- ・能登半島地震の災害ボランティアについて、防災士連絡会としては、現状では個々の防災士がボランティア活動に参加する場合の情報提供を行うこととする。

以上